

マンゴーの主な試験研究

～マンゴー果皮障害「まだら果症」の発生を軽減する技術の開発～

研究目的

宮古島はマンゴー栽培が盛んな地域であり、沖縄県を代表するマンゴー産地の一つです。主にアーウィン種が栽培されており、鮮やかな赤い果皮と優れた食味が市場から高い評価を受けています。

一方で、マンゴーは栽培環境の影響を受けやすい作物であり、特に高湿度や結露が発生する環境では、果皮の色がまだら状に色抜けする「まだら果症」が発生し、商品価値の低下が課題となっています。

本試験では、「まだら果症」の発生を軽減し、高品質なマンゴーを安定して生産するための技術開発に取り組んでいます。



まだら果症果実

調査・作業の様子



出蕾前の枝の調査



まだら果の調査



花吊後の樹



収穫前の樹